



平成22年11月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成22年10月12日

上場取引所 大

上場会社名 モリト株式会社
 コード番号 9837 URL <http://www.morito.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理統轄本部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年10月15日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 與田 邦男
 (氏名) 一坪 隆紀

TEL 06-6252-3551

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年11月期第3四半期の連結業績(平成21年12月1日～平成22年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年11月期第3四半期	22,965	3.3	1,101	159.9	1,030	256.9	578	
21年11月期第3四半期	22,230		423		288		48	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年11月期第3四半期	39.25	
21年11月期第3四半期	3.28	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年11月期第3四半期	30,935	23,619	76.2	1,603.72
21年11月期	31,624	23,638	74.3	1,581.11

(参考) 自己資本 22年11月期第3四半期 23,586百万円 21年11月期 23,502百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年11月期		6.00		7.00	13.00
22年11月期		7.50			
22年11月期(予想)				7.50	15.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成22年11月期の連結業績予想(平成21年12月1日～平成22年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	3.3	1,400	64.9	1,350	110.9	700	264.6	47.60

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、[添付資料]P.3「その他の情報」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 社 (社名)、 除外 社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 無

以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年11月期3Q	15,400,000株	21年11月期	15,400,000株
-------------------	-----------	-------------	---------	-------------

期末自己株式数	22年11月期3Q	692,886株	21年11月期	521,201株
---------	-----------	----------	---------	----------

期中平均株式数(四半期累計)	22年11月期3Q	14,742,101株	21年11月期3Q	14,907,861株
----------------	-----------	-------------	-----------	-------------

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. その他の情報	P. 3
(1) 重要な子会社の異動の概要	P. 3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P. 3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書	P. 6
【第3四半期連結累計期間】	P. 6
【第3四半期連結会計期間】	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 10
(5) セグメント情報	P. 10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国やインドなどの新興国の需要増加による輸出産業の業績好転や経済政策の効果に支えられ、消費回復の兆しが見られました。しかし失業率が依然として高水準にあり、設備投資をはじめ国内需要や所得が伸び悩み、円高や物価のデフレ傾向が続くなど先行きは不透明な状態にあります。

このような状況の中、主に付属品を扱う当社グループは、コア事業の拡充とグローバル化する市場環境に対応するため、摩理都實業（香港）有限公司を中心とする海外販売体制を再構築し、平成22年1月にはASEAN地域でのコア商品の加工・販売拠点としてモリトベトナムを設立、平成22年5月には中国華南地域での服飾資材拡販拠点として東莞市に佳耐美国際貿易（上海）有限公司東莞連絡所を開設、平成22年6月には中国及びアジア市場における自動車内装部品の製造加工・販売拠点として深圳市に摩理都石原汽车配件（深圳）有限公司を設立するなど、引き続き海外事業へ経営資源の投資を行っております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高229億6千5百万円（前年同四半期比7億3千4百万円増）、営業利益は海外子会社の製造人件費や、国内物流拠点の統合など経費の削減を進めた結果、11億1百万円（前年同四半期比6億7千7百万円増）、経常利益10億3千万円（前年同四半期比7億4千2百万円増）、四半期純利益5億7千8百万円（前年同四半期比5億2千9百万円増）となりました。

事業別売上高概況は次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より事業部門の区分を変更しております。このため、前年同四半期比較については、前年同四半期実績値を変更後の区分に組み替えて行っております。

当第3四半期連結累計期間（自平成21年12月1日 至平成22年8月31日）

（百万円単位未満切捨）

事業	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	構成比	前年同期比増減率
服飾資材関連事業	10,274	9,884	43.0%	△3.8%
生活産業資材関連事業	11,956	13,081	57.0%	9.4%
合計	22,230	22,965	100.0%	3.3%

（服飾資材関連事業）

アパレル業界におきましては、消費者の購買価格帯は下落基調にあり、慎重な購買行動は根強く、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、服飾資材関連事業においては、欧米市場の景況感改善による欧米向けユニフォーム関連資材等の販売に回復が見られ、またサッカーワールドカップのグッズ関連も好調に推移いたしました。一方、国内における百貨店の販売不振を受けた高価格帯商品の生産調整が継続し、資材の販売が減少いたしました。

その結果、売上高は98億8千4百万円（前年同四半期比3億9千万円減）となり、当社グループ全体の43.0%を占めております。

（生活産業資材関連事業）

世界経済は未だ本格的な回復には至らないものの、各国の自動車購入に対する減税、補助金等の需要促進策により、自動車業界を中心に回復の兆しを見せております。

このような状況の中、生活産業資材における輸送機器資材関連は、欧米、アジアを中心とした自動車販売台数の増加に伴い、自動車内装資材の売上高が増加いたしました。また、映像資材関連では一眼レフカメラ市場が好調に推移し、レンズケースやストラップ類のアクセサリ関係の売上高が増加したものの、国内販売を主な市場とするビジネス資材関連では、文具関連や玩具・ゲーム機関連の需要低迷が続き、売上高が減少いたしました。

その結果、売上高は130億8千1百万円（前年同四半期比11億2千5百万円増）となり、当社グループ全体の57.0%を占めております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、309億3千5百万円となり前連結会計年度末に比べ6億8千9百万円減少しました。

流動資産につきましては、182億1百万円となり前連結会計年度末に比べ4億4千2百万円減少しました。これは主に、商品及び製品が2億5千9百万円増加したものの、現金及び預金が7億3千7百万円減少したことによるものであります。

固定資産につきましては、127億3千4百万円となり前連結会計年度末に比べ2億4千6百万円減少しました。

流動負債につきましては、51億3千4百万円となり前連結会計年度末に比べ5億5千万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金が2億6百万円増加したものの、短期借入金が7億3千3百万円減少したことによるものであります。

固定負債につきましては、21億8千1百万円となり前連結会計年度末に比べ1億2千万円減少しました。

純資産につきましては、236億1千9百万円となり前連結会計年度末に比べ1千8百万円減少しました。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末の74.3%から76.2%へと1.9ポイント上昇しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

世界経済は中国や新興国を中心に回復に向かっているものの、金融市場における信用不安や為替動向等、市場の先行きは未だ不透明となっております。わが国経済においては、材料価格の高騰や円高の進行、外交上の解決課題等の懸念材料が存在し、景気を悪化させる要因を含んでおります。

このような状況の中、当社グループは海外拠点の拡充を継続し、アジアを中心としたグローバル市場の販売展開を進めて参ります。国内市場においては、収益力の向上を目指すため高付加価値商品の開発及び営業力強化を進めて参ります。また、事業・資本提携先のクラレファスニング株式会社との共同プロジェクトをさらに強化し、新商品開発・新用途開拓を進めて参ります。

今後の見通し及び現在の状況を総合的に勘案し、平成22年6月18日に公表いたしました平成22年11月期の連結業績予想に変更はございません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,864,814	6,602,273
受取手形及び売掛金	8,771,357	8,804,342
商品及び製品	2,492,971	2,232,984
仕掛品	123,110	18,458
原材料及び貯蔵品	142,964	125,013
その他	843,574	890,806
貸倒引当金	△37,777	△30,792
流動資産合計	18,201,013	18,643,085
固定資産		
有形固定資産		
土地	6,292,694	6,294,300
その他(純額)	2,178,021	2,392,445
有形固定資産合計	8,470,715	8,686,746
無形固定資産		
73,617		71,171
投資その他の資産		
投資有価証券	3,368,638	3,364,659
その他	958,643	1,026,030
貸倒引当金	△136,643	△166,700
投資その他の資産合計	4,190,638	4,223,988
固定資産合計	12,734,971	12,981,906
資産合計	30,935,985	31,624,992
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,790,415	3,583,872
短期借入金	400,000	1,133,720
未払法人税等	257,736	97,100
賞与引当金	212,556	53,856
役員賞与引当金	22,875	23,500
その他	450,970	793,067
流動負債合計	5,134,554	5,685,116
固定負債		
退職給付引当金	800,224	821,767
役員退職慰労引当金	162,616	210,483
その他	1,218,880	1,269,578
固定負債合計	2,181,720	2,301,829
負債合計	7,316,275	7,986,945

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,532,492	3,532,492
資本剰余金	3,386,143	3,386,341
利益剰余金	18,676,425	18,312,239
自己株式	△526,449	△431,782
株主資本合計	25,068,612	24,799,290
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	179,851	258,103
土地再評価差額金	△781,333	△781,333
為替換算調整勘定	△880,970	△773,212
評価・換算差額等合計	△1,482,452	△1,296,442
少数株主持分	33,550	135,198
純資産合計	23,619,710	23,638,046
負債純資産合計	30,935,985	31,624,992

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年8月31日)
売上高	22,230,990	22,965,835
売上原価	16,648,407	16,863,641
売上総利益	5,582,583	6,102,193
販売費及び一般管理費	5,158,616	5,000,256
営業利益	423,967	1,101,937
営業外収益		
受取利息	16,710	13,096
受取配当金	53,970	51,782
不動産賃貸料	—	43,428
負ののれん償却額	—	39,528
その他	88,138	31,843
営業外収益合計	158,819	179,679
営業外費用		
支払利息	14,861	7,675
売上割引	97,307	89,021
為替差損	79,531	31,990
持分法による投資損失	65,648	67,306
その他	36,604	54,709
営業外費用合計	293,953	250,703
経常利益	288,832	1,030,913
特別利益		
固定資産売却益	8,251	2,727
貸倒引当金戻入額	6,881	—
特別利益合計	15,132	2,727
特別損失		
固定資産除却損	63,753	20,711
固定資産売却損	503	1,518
投資有価証券評価損	—	9,750
ゴルフ会員権評価損	—	2,150
減損損失	—	61,365
特別損失合計	64,257	95,495
税金等調整前四半期純利益	239,708	938,145
法人税、住民税及び事業税	241,876	435,813
法人税等調整額	△63,163	△86,072
法人税等合計	178,712	349,740
少数株主利益	12,055	9,741
四半期純利益	48,940	578,663

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)
売上高	7,433,679	7,716,238
売上原価	5,423,996	5,625,168
売上総利益	2,009,682	2,091,070
販売費及び一般管理費	1,695,826	1,718,914
営業利益	313,856	372,155
営業外収益		
受取利息	4,467	4,319
受取配当金	39,201	37,967
不動産賃貸料	—	15,359
その他	30,647	4,394
営業外収益合計	74,317	62,040
営業外費用		
支払利息	5,195	2,538
売上割引	32,420	33,238
為替差損	—	31,990
持分法による投資損失	30,311	14,317
その他	37,516	23,566
営業外費用合計	105,443	105,651
経常利益	282,729	328,544
特別利益		
固定資産売却益	7,522	1,557
貸倒引当金戻入額	385	—
特別利益合計	7,908	1,557
特別損失		
固定資産除却損	1,023	1,158
固定資産売却損	282	63
投資有価証券評価損	—	1,000
特別損失合計	1,306	2,221
税金等調整前四半期純利益	289,331	327,880
法人税、住民税及び事業税	180,257	189,274
法人税等調整額	△55,093	△69,293
法人税等合計	125,163	119,980
少数株主利益又は少数株主損失(△)	4,691	△1,899
四半期純利益	159,475	209,799

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	239,708	938,145
減価償却費	350,922	312,561
減損損失	—	61,365
賞与引当金の増減額 (△は減少)	163,493	158,875
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△22,483	7,638
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	23,287	△47,866
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△133,924	△21,949
受取利息及び受取配当金	△70,680	△64,878
支払利息	14,861	7,675
負ののれん償却額	—	△39,528
持分法による投資損益 (△は益)	65,648	67,306
固定資産売却損益 (△は益)	△7,968	△1,209
固定資産除却損	62,790	20,711
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	9,750
ゴルフ会員権評価損	—	2,150
売上債権の増減額 (△は増加)	1,765,070	12,867
たな卸資産の増減額 (△は増加)	266,370	△400,929
仕入債務の増減額 (△は減少)	△412,003	240,323
その他	△684,575	△96,057
小計	1,620,516	1,166,949
利息及び配当金の受取額	70,594	66,486
利息の支払額	△20,033	△7,325
法人税等の支払額	△643,716	△295,626
その他	14,447	△35,504
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,041,809	894,979
投資活動によるキャッシュ・フロー		
長期性預金の預入による支出	—	△100,000
定期預金の預入による支出	△114,550	△185,898
定期預金の払戻による収入	40,300	100,000
投資有価証券の取得による支出	△114,579	△132,778
投資有価証券の売却による収入	9,000	—
関係会社出資金の払込による支出	—	△78,643
少数株主からの子会社株式の取得による支出	—	△75,260
有形固定資産の取得による支出	△177,709	△168,322
有形固定資産の売却による収入	12,133	3,922
無形固定資産の取得による支出	△981	△8,666
貸付けによる支出	△60,700	△4,500
貸付金の回収による収入	72,804	37,245
その他	1,139	3,138

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年8月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー	△333,142	△609,764
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	956,240	△729,390
自己株式の売却による収入	953	886
自己株式の取得による支出	△163,207	△95,750
配当金の支払額	△225,156	△214,477
財務活動によるキャッシュ・フロー	568,830	△1,038,732
現金及び現金同等物に係る換算差額	△102,185	△67,060
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,175,311	△820,577
現金及び現金同等物の期首残高	4,404,510	6,108,368
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,579,822	5,287,790

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年12月1日 至 平成22年8月31日)
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年12月1日 至 平成21年8月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自 平成21年12月1日 至 平成22年8月31日)

前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間において、当社及び連結子会社は、身の回り品を中心とする生活関連資材の販売(一部製造)を主とする事業を行っておりますが、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める当該事業の割合がいずれも90%を超えているため、その記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年12月1日 至 平成21年8月31日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	ヨーロッパ (千円)	計(千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	18,293,747	3,079,163	465,189	392,890	22,230,990	—	22,230,990
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,289,891	990,699	385	4,785	2,285,761	(2,285,761)	—
計	19,583,638	4,069,862	465,574	397,676	24,516,752	(2,285,761)	22,230,990
営業利益又は営業損失(△)	868,107	△114,372	△18,320	8,887	744,302	(320,334)	423,967

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………中国、台湾、シンガポール

(2) 北米……………アメリカ

(3) ヨーロッパ……………オランダ

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年12月1日 至 平成22年8月31日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	ヨーロッパ (千円)	計(千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	18,991,899	2,935,469	569,285	469,180	22,965,835	—	22,965,835
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,581,324	983,165	—	6,244	2,570,734	(2,570,734)	—
計	20,573,224	3,918,635	569,285	475,424	25,536,569	(2,570,734)	22,965,835
営業利益	1,189,490	208,019	5,264	40,747	1,443,522	(341,584)	1,101,937

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………中国、台湾、シンガポール

(2) 北米……………アメリカ

(3) ヨーロッパ……………オランダ

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年12月1日 至 平成21年8月31日)

	北米	アジア	ヨーロッパ	その他	計
I 海外売上高(千円)	474,094	3,516,028	432,617	26,503	4,449,243
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	22,230,990
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	2.1	15.8	2.0	0.1	20.0

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………アメリカ

(2) アジア……………中国、台湾、マレーシア、シンガポール

(3) ヨーロッパ……………イギリス、オランダ、フランス

(4) その他……………上記以外の国又は地域

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年12月1日 至 平成22年8月31日)

	北米	アジア	ヨーロッパ	その他	計
I 海外売上高(千円)	429,467	3,338,986	685,774	26,934	4,481,162
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	22,965,835
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	1.9	14.5	3.0	0.1	19.5

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………アメリカ

(2) アジア……………中国、台湾、韓国、インド

(3) ヨーロッパ……………イギリス、オランダ、フランス

(4) その他……………上記以外の国又は地域

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年12月1日 至 平成22年8月31日)

該当事項はありません。